

「脳の老化が protein phosphatase 2A のメチル化に与える影響」 に関する情報公開

当センターでは、東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

脳の老化が protein phosphatase 2A のメチル化に与える影響

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究の対象

2001年7月～2023年3月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、死後の病理診断により解析部位に神経疾患に特徴的な、あるいは加齢に伴う異常タンパク質の蓄積が見られないと診断された方

●研究の期間

倫理委員会承認後から2028年3月まで

●研究の目的と概要

本研究は、認知症患者さんで認められるPP2Aメチル化レベルの低下が、病態の発症に先立って起きるのか、あるいは病態発症の結果であるのかを生化学的に明らかにすることを目的としています。加齢にともなうPP2A活性の低下が確認できれば、PP2Aを標的とした認知症治療戦略の創出や、早期診断方法の開発に発展する可能性があります。

●研究の方法

東京都健康長寿医療センター・高齢者ブレインバンク（BBAR）から提供される凍結脳組織からタンパク質を抽出し、PP2Aのメチル化レベル、およびPP2Aメチル化関連因子の発現量を生化学的に解析します。また、パラフィン包埋切片を用いて、PP2Aメチル化関連因子の発現量を組織学的に解析します。さらに、解析データと研究対象者の背景データ（死亡時の年齢、性別）の相関関係の解析や、これらの因子を説明変数とした機械学習によるクラスタリング解析を行います。本研究は、山口大学共同獣医学部の文部科学省科学研究費を用いて実施されます。

●研究に使用する試料・情報

東京都健康長寿医療センター・高齢者ブレインバンク（BBAR）に保存されている凍結脳組織および組織切片とそれに付随する研究対象者背景（識別コード、性別、死亡時の年齢、既往歴）が該当します。なお、研究者対象者背景情報は、東京都健康長寿医療センターにおいて剖検時に研究対象者の個人情報とは無関係の番号を付して特定の個人が識別できないように加工し、山口大学へは個人を特定できないように提供します。

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤 祐子
山口大学 共同獣医学部 大濱剛

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはございません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なお対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク／神経病理 齊藤祐子（研究責任者）

電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）